

2022年12月

小牧市障害者団体連絡会通信

No.11

つながって → ひろげる

2022年度障害者団体交流会**「選挙のバリアフリーを考えよう」を開催します**

共同代表 山中和彦



3年前から活動を始めた小牧市障害者団体連絡会では、今年度「選挙のバリアフリー」をテーマとして選び、交流会を開催することにしました。

選挙権は、性別、財産、障害の有無等にかかわらず、ひとりひとりに平等に与えられています。しかし、投票所への移動、投票所の環境、情報の保障などにまだバリアがあるなど、必ずしも障害のある人にとって、投票しやすい環境が整っているわけではありません。そして、この環境を整えるのは、障害のある人の取り組みだけでなく、むしろ社会の側が協働して取り組む必要があります。そこで、障害のある人のみならず、多くの市民のみなさんといっしょに、「選挙のバリアフリー」について考えてみたいと思います。

全国各地で、取り組みがありますが、中でも、行政と市民が協働する形で10年前から取り組まれている東京都狛江市の実践が素晴らしいです。そこで、狛江市の平林副市長にはるばる小牧市まで来ていただいて、基調講演をしていただきます。講演の中では、狛江市手をつなぐ育成会の森井会長と、瀬戸市で活動されている林ともみさんからもお話をお伺いします。障害のある当事者の方、そのご家族、支援者、そして、行政、議員のみなさまにもぜひ参加いただきたいと考えています。

**2022年度障害者団体交流会****「選挙のバリアフリーを考えよう」**

日時: 2023年**3月5日(日)**13:30~16:00

【会場】小牧市総合福祉施設ふれあいセンター3階大会議室

【定員】60名※オンラインによる参加可能。Zoom使用、30名

【対象】障害のある人、障害のある人の家族、支援者ほかどなたでも

【申込み方法】FAXまたはホームページから。3月3日(金)締切

※講演会の内容、申込方法については2ページに記載しています。

主催 小牧市障害者団体連絡会

後援 小牧市 小牧市選挙管理委員会 小牧市教育委員会

特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク

参加費無料
手話通訳・
UDトーク
あります



申込フォーム

「選挙のバリアフリーを考えよう」

<プログラム> 第1部 講演「わたしの1票を！～狛江市の選挙支援の取り組み」

講師 東京都狛江市 副市長 平林浩一さん

ゲスト 狛江市手をつなぐ親の会 会長 森井道子さん(オンライン)
ラジオパーソナリティー 林ともみさん

第2部 参加者による意見交換会

進行 小牧市障害者団体連絡会 共同代表 山中和彦

平林浩一さん

- ・狛江市福祉保健部長(2013～2016)
- ・狛江市教育部長(2016～)
- ・狛江市総合的な主権者教育計画策定委員会委員長(2017～)
- ・狛江市副市長(2019～)

森井道子さん

- ・狛江市手をつなぐ親の会会長
- ・狛江市手をつなぐ親の会わかりやすい選挙プロジェクトチーム(2015～)
- ・狛江市総合的な主権者教育計画策定委員(2017～)

林ともみ(池戸智美)さん

- ・ラジオサンキュー FM84.5 福祉番組「ともみとともに」パーソナリティー
- ・瀬戸市障害者地域自立支援委員会副委員長

● 申込方法 (ホームページまたは FAX でお申込みください) **3月3日(金)締切**

○ ホームページ <http://komaki-sdr.sakura.ne.jp>

※オンラインによる参加の方は、メールアドレスの確認のため、ホームページからお申込みください。(メニューから「選挙のバリアフリー」を選択)



申込フォーム

○ FAX 050-3145-3224

●次の項目を明記のうえ、お申し込みください。

①参加方法 (ア 現地 イ オンライン(Zoom ミーティング使用))

②氏名 (ふりがな)

③連絡先 (電話番号)

④連絡先 (メールアドレス)

⑤お住いの市町村

⑥区分 (ア 障害当事者 イ その家族 ウ 支援者 エ その他())

⑦障害のために必要な配慮

●以下は障害当事者またはそのご家族へのアンケートです(任意)

①障害区分(複数選択可) (ア 身体障害 イ 知的障害 ウ 精神障害 エ その他())

②選挙に行きますか (ア 必ず行く イ できるだけ行く ウ 行くこともある エ 行かない)

③バリアを感じますか (ア バリアがあると感じている イ あまり感じない ウ 感じない)

④どんなバリアですか

小牧市難聴・中途失聴者協会

2022 年も、コロナ禍でも何とか活動することができました。

この秋、11 月 14 日(月)から、念願だった県知事会見に要約筆記が付くようになりました。今はまだ月曜日の定例会見だけですが、緊急会見にも付くようになることを望んでいます。県庁ホームページからアクセスができ、毎週月曜日の 10 時からです。

10 月は、15・16 日に行われた福祉展の「要約筆記こまき」コーナーに会員が協力して、来場者に筆談をしてもらい、コミュニケーションの取り方の体験をしていただきました(写真①)。そして、難聴者とのコミュニケーション方法のチ



▲福祉展 (写真①)

ラシも配布しました。市長や議員さんも立ち寄ってくだ

さり、チラシを渡して PR ができて良かったです。そして、10 月 30 日に応時中学校で行われた市総合防災訓練に初参加をして「知ってください。耳マーク」をテーマに、参加者にアンケートを取りました(写真②)。耳マークを知ってる人が 41 名。知らない人が 75 名。まだまだ認知度が低いので、今後もいろいろな行事に参加して、認知度を高めていかないといけないと再認識しました。



▲市総合防災訓練 (写真②)

11 月は定例会。年賀状用にちぎり絵等を楽しみました。12 月 17 日は毎年行っている「耳の不自由な方の交流会」。昨年もお一人参加していただきましたが、今年も新しい方との出会いがあると嬉しいなあと思います。(古木)

ここばかりこまき

ここばかりこまきは、7月の学習会以来集まることができいていません。(3月に公開講座を行う予定なので、12月に次の会合があります。)活動を始めて10周年を過ぎた頃からのコロナ禍で、障害のある方やそのご家族、そして福祉関係の仕事や活動をしているメンバーはなかなか集えなくなり、みんなでやってきた活動ができない状態となっています。ただ、それぞれは別々の場で少しずつ取り組みを進めています。

障害のある息子さんや娘さんとの生活で奮闘されたり、親のグループとして市と話し合いを持ったりしている人もいます。職場や別のグループでコロナの状況を見ながら、行事などを行っている人もいます。今回の団体連絡会のテーマ「選挙のバリアフリー」に関して、障害の息子さんを持つあるお母さんに尋ねたところ、白紙投票になっているけれど選挙には連れて行っていると話されていたとか…。障害のある人もない人も一人ひとりを大切に、尊厳や権利・義務などについて考えながら、ここばかりメンバーはそれぞれの場で皆が生活しているのだと思います。バリアがなくなり、誰もが暮らしやすい優しいまちになる事を願って…。(御手洗)

こまき視覚障がい者の会

今年度も中盤となり、年度計画の中心となるようなイベントが続きました。

しきの会と合同でこども未来館に於いての「ハロー福祉」、「市民活動祭」、「人にやさしい街づくり地域セミナー in 小牧」、名古屋経済大学の学園祭においてSDGsの活動を学生たちに紹介できたことなどは、すべて初めての体験でした。

そればかりでなく「目の見えない人とアートを見る」のメナード美術館での鑑賞会は、助成金事業でやりたかった新しい取り組みでした。実現に至るまでは名古屋YWCAのアートな美、声のボランティアかっこうと合同で勉強会や、メナード美術館の学芸員さんたちとの細かな打ち合わせなど多くの時間を要しました。その結果、参加者、関係者皆が「こんな美術鑑賞の仕方があるんだ」「美術館がこんなに楽しい場所だと初めて知った」「作品一つ一つに込められた深い思いが分かった」などと、それぞれに心に残るよい鑑賞会ができたと心から感謝しています。



▲色・形・構図などの説明を受けながら、イメージを膨らませて作品を鑑賞。

その他、9月と11月にはiPhoneのボイスオーバー講座や、トイレトペーパーの芯とクイリングによるペン立て作りを行うなどの活動ができました。これらは全て会の活動を支えてくれた方々の存在がとても大きいものです。今後も、日々人との関わりを大切にしていきたいと思っております。(水谷)

こまき視覚障がい者の会



しきの会

しきの会の秋、ひとつ目は「小牧市民まつり」にてパラスポーツのボッチャを小牧特別支援校の協力を得まして、オリジナルゲームにアレンジし、600名の方にボッチャ体験をして頂きました。小さなお子さんが高得点を出し、大人は狙い過ぎて点取れず、、など大変盛り上がりました、

ふたつ目は3年振りに山梨県北杜市にてキャンプを開催しました。普段のしきの会のイベントは、参加して下さった方々と数時間の交流となりますが、このキャンプでは二日間を過ごす中で、共にご飯を作り、音楽を奏で、お互いを語らい、星空観察をし、またまた語らう、、という濃い内容です。始まりは数家族での企画でしたが、回数にして9回目を迎え、参加者は延人数250名を越しました。

様々な立場、世代、境遇、価値観の持ち主が、「障がい福祉」というワードに各々の捉え方で参加され、時間と経験を共有する機会は、とても貴重で有益です。しきの会としても個人的にも、学びと発見を毎回感じています。

令和5年度は、4月に小牧市のお隣り、春日井市で開催します！中身を一部紹介しますとキャンプファイヤー！をしますよ～。皆さま来年も、しきの会の各種イベントを楽しみにして下さいね☆(関)

■楽しいと一緒に。「しきの会」<https://shikino-kai.com/>

小牧市おもちゃ図書館きらら

9月25日、デイサービスひかりで行われた「ふれあいまつり」で手作りのおもちゃ『ソーマトロップ』をプレゼントしました。2枚の絵を交互に見続けることで2つの絵がひとつに重なって見えるという、目の錯覚を利用したおもちゃです。コロナ禍で久しぶりのおまつりでしたが、お天気も良く、直接おもちゃを渡せたことがとてもうれしくて、楽しいひとときでした。

10月15日、3年ぶりの「福祉展」で、『パタパタちょうちょ』を作って楽しんでもらいました。コロナ禍でも簡単にできるように工夫しましたが、できあがった作品は楽しいものがいっぱいでした。シールを貼るだけでもそれぞれに個性がみられました。ちょうちょを不思議そうにながめる子がいました。動かして笑顔であちこち止まらせて遊ぶ子がいました。子どもだけではなく、孫にプレゼントするって参加して下さったおばあちゃん。しくみがわかり、感心して下さるお父さん。子どもの様子を見て、思わず私もやってみようかな……と、お母さん。中学生ぐらいのお姉さんたちは 優雅なちょうちょに仕上げていました。さすがです。また来年も開催できますように。(船橋)



▲今回の福祉展は、アクリル板を挟んでの対応。制作時間も短くするなど、感染対策を考慮して取り組みました。

小牧市肢体不自由児者父母の会



▲ふれあいセンター3階大会議室で行ったクリスマス演奏会には、18名が参加しました。

の演奏も楽しく、みんなの笑顔に会えました。クリスマスケーキもプレゼントのお菓子も嚙下のしやすいもの、アレルギー対応のものなど、参加する方への配慮も忘れずに、みんなが楽しく過ごせるように、これからも頑張っていきます。

来年はもう少し開かれた感じで地域の方や子ども達のお友達にも声をかけて、大人数で賑やかなクリスマス会になったらいいなと思います。コロナ退散。(上田)

今年も何とかみんなの元気な顔を見られる機会を1度は持ちたいね!! と、この3年、相変わらずのコロナ禍での開催でした。体調不良での当日の欠席の方が多く残念でしたけれど、お世話になっている音楽療法士の方々のクリスマス演奏会で、楽しいひとときをプレゼントしていただきました。

曲に合わせて楽器をならしたり、スカーフを動かしたり、ジブリやディズニー



▲9月10日、豊橋市で「全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会」が開催され、全国から集まった障害者や家族、福祉、行政関係者、ボランティアらと共に参加しました。

● イベントの案内

内容	日時	場所	問合せ・申込先
「視覚障がい者の防災を考える」 歩行訓練士を招いて講演会 & 「考える」ワークショップ 【定員】30名(先着順) 【参加費】無料	2月12日(日) 13:00~15:00	市民交流テラス 多目的室	こまき視覚障がい者の会 【TEL】 090-3933-3557(水谷) 【Mail】 way.hazime@gmail.com

● 定期活動の紹介 ※日時・場所は原則です。各団体の問合せ先にご確認ください。

団体名	内容	日時・場所	問合せ先
小牧市難聴・ 中途失聴者協会	定例会 会員同士の交流・ 趣味を深める・行 楽など	第3土曜日(8月は休み) 10:00~正午 ふれあいセンター視聴覚室 または第3会議室	【FAX】 0568-73-9433(古木)
こまき視覚障がい者の会	iPhone 講座	奇数月第2土曜日 13:30~15:00 市民交流テラス多目的室	【TEL】 090-3933-3557(水谷) 【Mail】 way.hazime@gmail.com
	点字サークル プライユ	奇数月第2土曜日 13:30~15:00 市民交流テラス多目的室	
	おしゃべりサロン	偶数月第2土曜日 視覚障がい者の社会参加の ため、全ての人が暮らしや すい街づくりのための自由 で楽しい企画	
小牧市 おもちゃ図書館きらら	定例会 あそぼう DAY の企 画・通信の発行等	第1月曜日 18:30~19:30 デイサービス施設ひかり	【TEL】 0568-71-1003(浅見)
	おもちゃの清掃	年に数回 デイサービス施設ひかり	

【会員を募集しています】

小牧市のさまざまな障害者当事者団体、支援者団体がつながって、いろいろな障害のある人の立場を互いに知りあい、共同して市民に向けて発信していくことで、障害のある人も誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくことを目的に活動しています。活動に賛同していただける団体、個人の方を募集しています。

■正会員(団体のみ 年会費 2,000円) ■団体賛助会員(年会費 1,000円) ■個人賛助会員(年会費 1,000円)

※賛助会員は、活動への参加は難しいけれど趣旨に賛同し、イベントへの参加や活動の周知等を通じて応援して下さる会員です。議決権はありませんが、イベント等のご案内を差し上げます。申込みは下記メールアドレスへご連絡ください。

■小牧市障害者団体連絡会加入団体(50音順)：正会員(7) 賛助会員(5)

【正会員】犬山・小牧地域腎友会、ここぱりこまき、小牧市おもちゃ図書館きらら、こまき視覚障がい者の会、小牧市肢体不自由児者父母の会、小牧市難聴・中途失聴者協会、しきの会

【賛助会員】小牧市聴覚障害者福祉協会、小牧おひさまクラブ、手話サークルおてだま、手話サークルふたば、全国障害者問題研究会小牧サークルかざぐるま

小牧市障害者団体連絡会通信 2022年12月発行
〒485-0811 小牧市光ヶ丘1-1 アクシス光ヶ丘4-403(山中)
【メール】 mail@komaki-sdr.sakura.ne.jp
【ホームページ】 http://komaki-sdr.sakura.ne.jp

※視覚障害のある方へ
ホームページに本通信の
テキスト版があります。

